

型 枠 の 数 量 拾 い 表

記入例

型枠面積 (㎡) = 1箇所 の 面積 (部位ごとの式) × 箇所数

工事名	〇〇倉庫新築工事 (RC造 平屋)						作成日	2026年10月14日		
図面	基礎伏図・軸組図・梁リスト						作成者	〇〇		
No.	部位	符号	長さ L (m)	幅 W (m)	高さ・せい H (m)	箇所数	開口の控除 (㎡・1箇所)	型枠面積 1箇所 (㎡)	型枠面積 計 (㎡)	備考
1	基礎梁	FG1	5.5		0.9	2		9.90	19.80	柱の間の内法・両側の側面
2	基礎梁	FG2	3.5		0.9	2		6.30	12.60	
3	柱	C1	0.5	0.5	3.6	4		7.20	28.80	基礎梁の上～屋根スラブの上
4	梁	G1	5.5	0.35	0.525	2		7.70	15.40	側面の高さ＝外0.60・内0.45の平均
5	梁	G2	3.5	0.35	0.525	2		4.90	9.80	同上
6	スラブ	S1	5.65	3.65		1		20.62	20.62	梁の内側の底面
7	壁 (両面)	W1	5.5		3	1	3.78	25.44	25.44	出入口 1.8×2.1を引く
8	壁 (両面)	W2	5.5		3	1		33.00	33.00	
9	壁 (両面)	W3	3.5		3	2		21.00	42.00	換気口0.36㎡は引かない
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										

1箇所 の 型枠面積 (㎡) は 部位ごとに 壁 (両面) = (L×H-開口)×2 / 壁 (片面) = L×H-開口 / スラブ = L×W-開口 / 柱 = (L+W)×2×H / 梁 = (W+H×2)×L (H はスラブが付く側ではスラブの厚さを引いた側面の高さ) / 基礎梁・布基礎 = H×2×L で計算し、小数点以下第2位に四捨五入します。開口の控除は1箇所 の 見付面積 (片面) で、0.5㎡以下の開口は引きません (公共建築数量積算基準の考え方)。

壁のセパ・Pコン（目安）

記入例

No.	壁（符号）	長さ L（m）	高さ H（m）	横ピッチ（mm）	縦ピッチ（mm）	端あき（mm）	箇所数	横の本数	縦の本数	開口で引く本数（1箇所）	セパ計（本）
1	W1	5.5	3	600	600	150	1	9	5	6	39
2	W2	5.5	3	600	600	150	1	9	5		45
3	W3	3.5	3	600	600	150	2	6	5		60
4											
5											
6											

セパの本数（1箇所）＝横の本数×縦の本数-開口の所で引く本数。横の本数＝切り捨て((L×1000-端あき×2)÷横ピッチ)+1、縦も同じ。Pコン・フォームタイは両面でセパ×2。ピッチは側圧（打設の速さ・スランプ・気温・打ち上がりの高さ）と型枠の強度の計算で決まります。ここでの値は目安です。

部位ごとの合計

部位	壁（両面）	壁（片面）	スラブ	柱	梁	基礎梁	布基礎	合計
箇所数	4		1	4	4	4		17
型枠面積（㎡）	100.44		20.62	28.80	25.20	32.40		207.46

セパ（本）	144	Pコン（個・両面）	288	フォームタイ（本）	288
ロス率（％）	10	コンパネ 3×6（910×1820）	138 枚	コンパネ 4×8（1220×2440）	77 枚

コンパネの枚数は 型枠面積×(1+ロス率)÷1枚の面積（3×6＝1.6562㎡・4×8＝2.9768㎡）を切り上げた、新しく張る場合の目安です。転用の回数と割付の図で、実際に買う枚数は変わります。数量は図面・施工計画で確かめてから発注してください。